

静岡県漁業協同組合連合会  
1054 静岡市追手町 9-18  
15.8.8 ☎ 054-254-6011  
編集・発行 = 指導部漁政課

## 1. 駿河湾でマイワシ豊漁

シラスの不漁が続いていた駿河湾で6月から7月にかけて、マイワシの近年にない豊漁が続きました。相良町沖合い2kmに設置した二つの小型定置網では最高時1日7~8トンの漁があり、少ない時でも数百kgの水揚げが1ヶ月ほど続き、過去にない豊漁(6~7月間で104トン)となりました。

駿河湾内の中、小型旋網漁も好漁で、7月25日までの水揚量累計で沼津港が1,500トン(昨年同月5トン)、小川港が1,200トン(同1トン未満)に達しました。沼津港では、一ヶ月足らずで前年度1年間の水揚量1,400トンを上回りました。しかし24日頃より水揚量は減少傾向でウルメ、カタクチなどが混じりました。魚体は70~80gが全体の6~7割を占め残りは40~50g前後。70~80gサイズの28日の浜値は沼津、小川ともキロ250円前後で、脂が充分ののっていて鮮魚での取扱が主体となりました。

## 2. 水産物のブランド化に関心高まる アンケート調査公表

農林漁業金融公庫では、ブランド化事業の中心となるJF(漁協)がブランド化についてどのように考え、取り組んでいるかを把握するため、今回取引先の全国(沖縄県を除く)のJF214漁協へのアンケート(回答数103)をもとに「水産物のブランド化事業に関する調査」を実施しその結果を公表しました。

これによると、現在のブランド化事業に対する取り組みについての回答は「現在行っている」が55.3%、「現在行っていないが、いずれは行いたい」が33.0%で、88.3%の組合が取組んでいる、あるいは興味を示しているという結果となりました。

ブランド化したい地元の水産物の長所・アピール点については「味のよさ」が74.7%、「鮮度のよさ」が63.7%、「安全性」が40.7%、「伝承・知名度」が33.0%となりました。

実際に推進しているブランド化事業のメリットについての回答は「価格が1~2割高くなった」が54.5%と過半数を占め、ブランド化事業は販売価格の向上に貢献していると推測されます。また、価格以外のメリットでは「安定的な販路の確保」が62.6%、「販路拡大」が57.1%、「組合員の意欲が向上する」が52.7%などとなりました。

行政の支援については、全体の6割が「既に利用している」「利用したい」と回答しており、支援事業に対する期待がうかがえる一方、約3割は「制度についてよく知らない」という回答でした。支援内容については「宣伝・PR活動の支援」「補助金による金銭面での支援」の割合が高くなる特徴がありました。

ブランド化事業のために今後、取り組んでいきたいことは「ブランド水産物の知名度向上」が一位となり、以下、「衛生管理面の徹底」や「認定基準の厳密化」が続き、高い品質と安全性の確保が重要視されています。

また、自由意見では、ブランド化の障害として不安定な漁獲量の問題が挙げられ、資源の管理・増殖を課題としている漁協も少なくないという結果が示されました。

## 3. 平成14年の家族型経営調査結果まとまる

農水省統計情報部は7月23日、平成14年の家族型経営調査(漁船漁業、小型定置網漁業)の結果を発表しました。

この調査は、漁業経営調査が昨年から経営タイプ別に「家族型」と「雇车型」に分かれ、そのうち家族型の漁船漁業(使用動力漁船の合計トン数が20トン未満)及び小型定置網漁業について、昨年1~12月の調査結果をまとめたものです。

それによると漁船漁業の1世帯平均の漁業所得は234万円で前年に比べ1.9%増、総所得は571万円で1.2%増。漁業依存度(総所得に占める漁業所得の割合)は41%で0.3%上昇しました。小型定置網は、漁業収入が減少したため漁業所得は196万円で11.7%増。総所得は減少し、537万円で4.1%減。漁業依存度は36.5%で5.2%上昇しました。

<平成14年の家族型経営の概要> 単位：金額=万円、増減率=%

区 分	漁 船 漁 業		小型定置網漁業	
	金 額	対前年 増減率	金 額	対前年 増減率
漁 業 所 得	234	1.9	196	11.7
漁業収入	549	0.9	549	0.0
漁業支出	315	0.1	353	5.5
漁 業 外 所 得	337	0.7	341	11.3
総 所 得	571	1.2	537	4.1
漁業依存度(%)	41	(0.3)	36.5	(5.2)

## 4. 「第15回にじます祭」開催のお知らせ

にじます祭実行委員会(富士養鱒漁協、県水産試験場富士養鱒場、富士宮市)では、来る、8月23日(土)09:00~15:00に「第15回にじます祭」を県水産試験場富士養鱒場及び井之頭公園内(当日は入園無料)において開催しますので、お知らせします。

当日会場では、にじます釣り・つかみ取り、富士養鱒漁協婦人の会や富士宮市内専門店4業者による合同即売会、試食会のほか、虹鱒に関するパネル展示や、虹鱒クイズ、郷土特産品の即売会など予定されています。

また、アトラクション等では、地元郷土芸能の陣馬の滝太鼓や、スタンプラリー、竹とんぼ工作教室の他、釣ったり、つかみ取りした虹鱒をその場で炭焼きするバーベキューコーナーも開催される等、盛り沢山の催し物が予定されています。

なお、県信漁連富士養鱒支所では、「第15回にじます祭」の開催を記念した特別企画として、特別定期預金「ウルトラレインボー」を次のとおり取扱っています。

取扱期間：平成15年9月1日(月)まで 内容：抽選券付優遇金利(店頭表示金利に0.5%を上乗せ+抽選券付)1年もの定期預金 取扱機関・問合せ先：県信漁連富士養鱒支所・富士宮市淀師413-5富士養鱒漁協内 TEL0544-26-4167

## 5. 諸会議・日程(8月12日(火)~8月25日(月))

8月25日(月) 県漁業信用基金協会 = 保証審査委員会 (県水産会館)

- 既報分省略 -